文　教　委　員　会

令和７年７月11日

庶務報告

(1)	葛飾区立日光林間学園指定管理者からの令和６年度管理運営報告の概要について	（学校施設課長）
(2)	区立幼稚園における弁当食材料費補助の実施について	（学　務　課　長）
(3)	損害賠償等請求事件に係る訴えの一部取下げについて	（教育指導課長）
(4)	「今後の水泳指導の実施方法に関する方針」の実施計画の更新に向けた事業経費等の分析について	（学校教育推進担当課長）
(5)	「葛飾柴又の文化的景観」の重要な構成要素「旧たなかや」保護の取組状況について	（生涯学習課長）
(6)	葛飾区体育施設指定管理者からの令和６年度管理運営報告の概要について	（生涯スポーツ課長）
(7)	葛飾区体育施設条例における営利を目的とする場合について	（生涯スポーツ課長）

庶 務 報 告 Ｎ ｏ ． １
令 和 ７ 年 ７ 月 １ １ 日

葛飾区立日光林間学園指定管理者からの令和６年度管理運営報告の概要について

学校施設課

１　報告趣旨

地方自治法第244条の２第10項（指定管理者施設の管理業務・経理状況報告）及び葛飾区公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例第６条（事業報告書の提出）に基づき、葛飾区立日光林間学園指定管理者（以下「指定管理者」という。）から提出された令和６年度管理運営報告の概要について報告するもの。なお、指定管理者として、国際自然大学校・宮ビルサービス共同体を指定している。

２　管理運営報告の概要

（１）宿泊利用件数

	令和６年度	令和５年度	増減数
一　般	643件	641件	2件
移動教室・公用	51件	52件	△1件
合　計	694件	693件	1件

（２）宿泊利用人数（延べ人数）

	令和６年度	令和５年度	増減数
一　般	8,514人	7,778人	736人
移動教室・公用	7,315人	7,404人	△89人
合　計	15,829人	15,182人	647人

（３）施設利用料金収入実績

ア　施設利用料金収入額

19,209,030円

イ　施設利用料金収入の区への還元

指定管理者は、葛飾区立日光林間学園の管理に関する年度協定書（以下「年度協定書」という。）第６条第１項に基づき、施設利用料金収入額が収入見込額を超えた場合には、その超えた額の１割を区に還元する。令和６年度は、施設利用料金収入額が収入見込額を上回ったため、指定管理者は次の額を区に納付した。

還元額　320,903円

（19,209,030円〔収入額〕－ 16,000,000円〔見込額〕）×0.1

（４）修繕料・植栽管理費

施設及び備品の修繕、植栽管理については、区から貸し付けられた預り金により指定管理者が実施した。

ア　指定管理者が実施した修繕　16件

庭園橋架替え修繕、エレベーター巻上機ブレーキ修繕等

イ　指定管理者が実施した植栽管理　１件

樹木調査

ウ　修繕料・植栽管理費の清算

貸付額	支出額	返戻額
6,911,000円	6,630,505円	280,495円

（５）燃料・光熱水費

燃料・光熱水費については、区から貸し付けられた預り金により指定管理者が支払った。

燃料・光熱水費の清算

貸付額	支出額	返戻額
30,912,647円	30,407,399円	505,248円

（6）自主事業実績

ア　主な実施内容

時　期	実施内容	参加者数
通　年	クラフト等製作	624人
通　年	益子焼絵付け体験	497人
通　年	星空観察会	161人
令和６年５月、８月	にっこうのあそびくらぶ	14人
令和６年８月	親子キャンプ夏編	24人
令和７年２月	親子キャンプ冬編	34人
令和７年２月	にっこう雪あそびキャンプ	40人

イ　自主事業収益の区への還元

指定管理者は、年度協定書第６条第２項に基づき、自主事業の実施による収益があった場合には、その収益額の５割を区に還元する。

令和６年度は、自主事業の実施による収益があったため、指定管理者は次の額を区に納付した。

還元額　301,247円

（4,093,526円〔収入額〕－ 3,491,031円〔支出額〕）×0.5

（7）広報活動実績

ホームページの運営、「フェイスブック」・「インスタグラム」への掲載、パンフレットの作成・配布を通年実施した。

（8）モニタリング及びアンケートの実施

実施方法

ア　指定管理者によるセルフモニタリング

指定管理者が自らの業務について、毎月、セルフモニタリングシートを使用した自己評価を実施し、継続的な改善に取り組んだ。

イ　利用者満足度調査

移動教室を実施した小学校及び一般利用者には、それぞれアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めた。

ウ　実施結果の反映

セルフモニタリング及び利用者満足度調査の結果について、モニタリング会議等の際に指定管理者と区で協議を行い、サービス向上につなげた。

（9）総括

一般利用については、前年度比で延べ736人増加し、コロナ禍前と同等の利用状況になった。

なお、小学校及び一般利用者からのアンケート結果では、別紙１のとおり概ね良好な評価を得ている。また、学園の財務状況については、別紙２のとおりである。

3　区の重点指導方針

葛飾区立日光林間学園の管理に関する基本協定書及び年度協定書に基づき、安全・安心な施設管理を徹底していくとともに、豊かな自然や文化に触れ、楽しく学習ができる施設運営を行うように指導していく。

また、サービス向上への継続的な取組、積極的な広報活動や自主事業の実施により、一般利用者の集客を図っていく。

別紙１

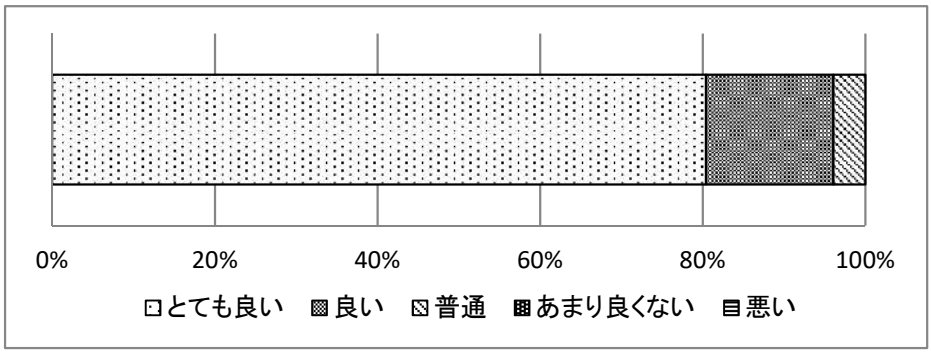
令和６年度日光林間学園の利用に関するアンケート結果

１　移動教室実施校

［回答校］　51校

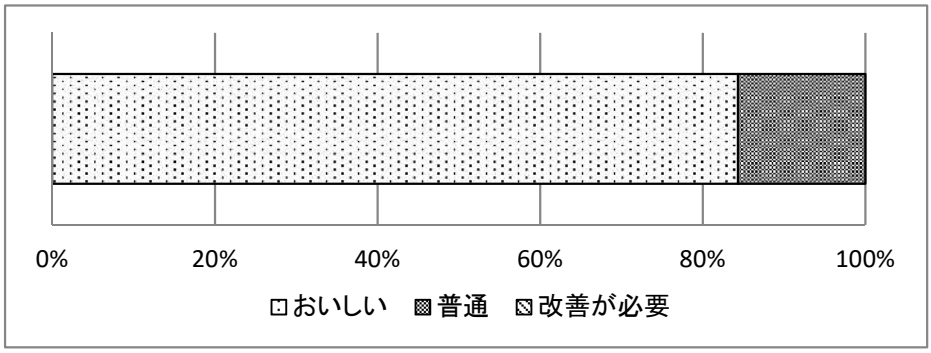
◆学園職員の応対

評価	
とても良い	41
良い	8
普通	2
あまり良くない	0
悪い	0
計	51



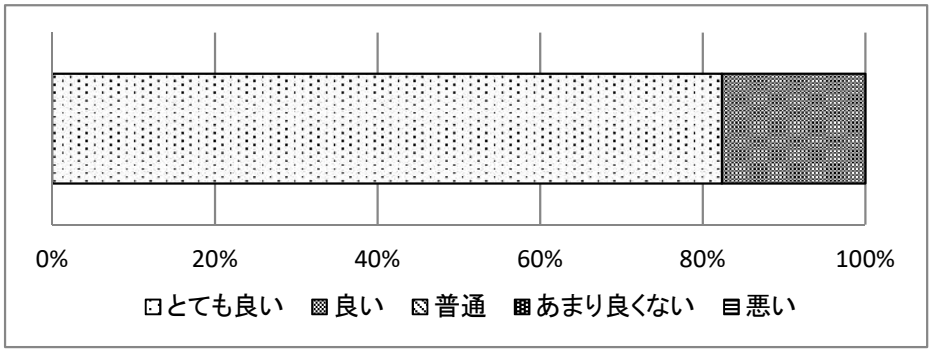
◆食事の味付け

評価	
おいしい	43
普通	8
改善が必要	0
計	51



◆清掃の状態

評価	
とても良い	42
良い	9
普通	0
あまり良くない	0
悪い	0
計	51



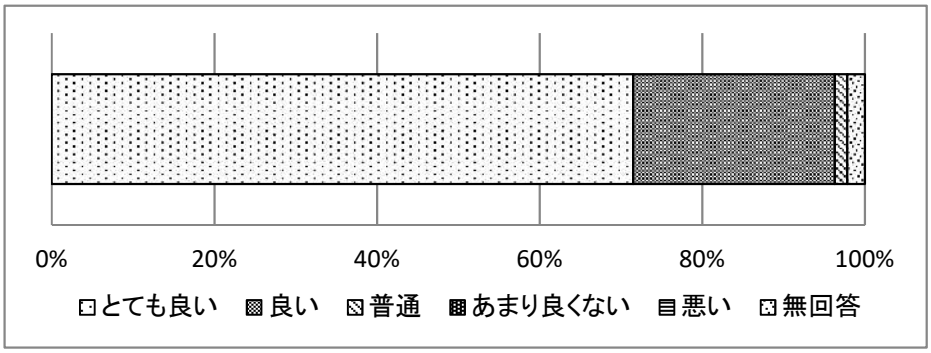
令和６年度日光林間学園の利用に関するアンケート結果

２－１　一般利用者

［回答数］ 323件

◆学園職員の対応

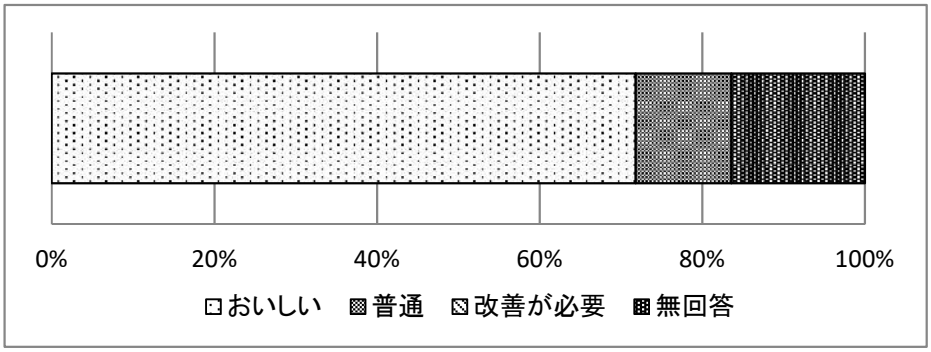
評価	
とても良い	265
良い	51
普通	3
あまり良くない	0
悪い	0
無回答	4
計	323



◆食事の味付け

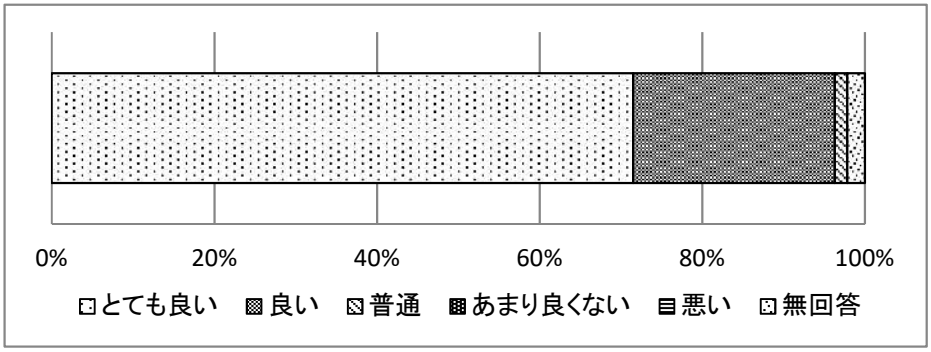
評価	
おいしい	232
普通	38
改善が必要	0
無回答	53
計	323

※無回答には食事なしを含む



◆清掃の状態

評価	
とても良い	231
良い	80
普通	5
あまり良くない	0
悪い	0
無回答	7
計	323

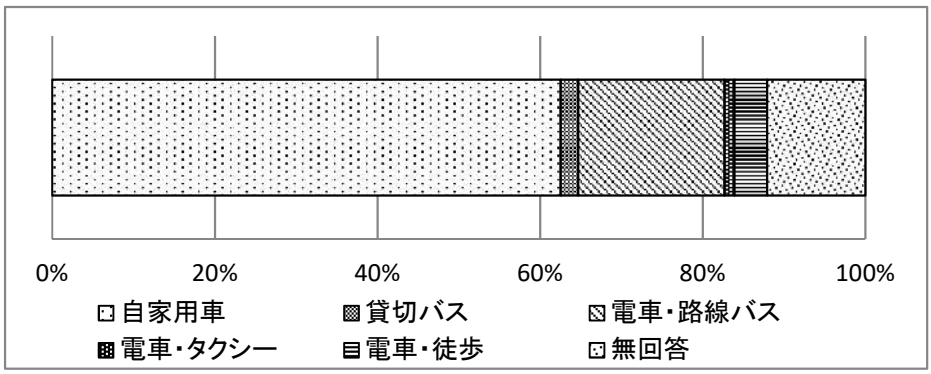


２－２　一般利用者

［回答数］ 323件

◆交通手段

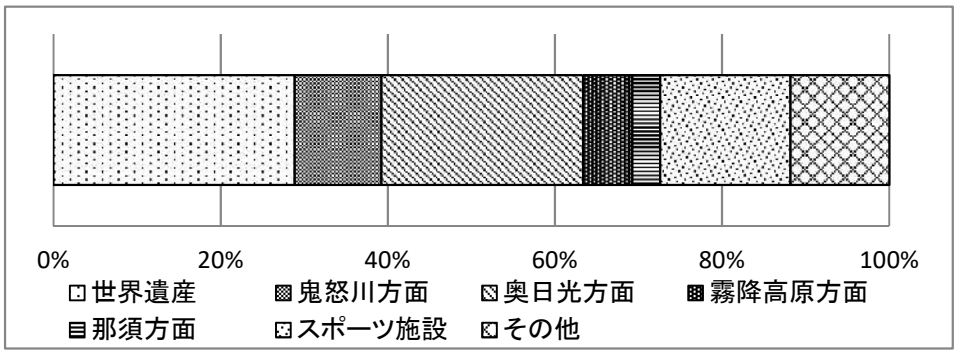
項目	
自家用車	202
貸切バス	7
電車・路線バス	58
電車・タクシー	4
電車・徒歩	13
無回答	39
計	323



◆行き先

項目	
世界遺産	122
鬼怒川方面	44
奥日光方面	102
霧降高原方面	25
那須方面	14
スポーツ施設	66
その他	50
計	423

※複数回答可



別紙２

令和６年度日光林間学園　財務状況

1　損益計算書

令和６年４月１日から令和７年３月31日まで

（単位：円）

区分	合計		運営・維持管理業務会計		自主事業会計	
売上高						
指定管理料	53,253,000		53,253,000			
		53,253,000		53,253,000		
売上高						
施設利用料金収入	18,526,780		18,526,780			
減免補填収入	682,250		682,250			
食事料金収入	26,688,430		26,688,430			
自主事業収入	4,093,526				4,093,526	
その他収入	141,900	50,132,886	141,900	46,039,360		4,093,526
売上高合計		103,385,886		99,292,360		4,093,526
売上原価						
食材仕入原価	26,688,430		26,688,430			
自主事業原価	3,491,031				3,491,031	
売上原価合計		30,179,461		26,688,430		3,491,031
売上総利益		73,206,425		72,603,930		602,495
販売費及び一般管理費						
人件費	28,259,368		28,259,368			
業務委託費	34,518,528		34,518,528			
消耗品費	1,586,729		1,586,729			
事務用品費	54,691		54,691			
通信費	565,449		565,449			
交際費	0		0			
新聞図書費	46,800		46,800			
旅費交通費	138,877		138,877			
広告宣伝費	420,890		420,890			
支払手数料	92,730		92,730			
賃借料	2,817,848		2,817,848			
保険料	394,580		394,580			
租税公課	20,000		20,000			
負担金	31,000		31,000			
雑費	2,314,341	71,261,831	2,314,341	71,261,831		0
営業損益		1,944,594		1,342,099		602,495
営業外費用（還元額）						
施設利用料金還元	320,903		320,903			
自主事業還元	301,247	622,150		320,903	301,247	301,247
経常損益		1,322,444		1,021,196		301,248

2　貸借対照表

令和７年３月31日　　現在

（単位：円）

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
Ⅰ 流動資産	46,400,754	Ⅰ 流動負債	45,078,310
現金及び預金	46,345,819	預り金	37,823,647
預け金	0	未払金	7,254,663
売掛金	54,935	前受金	0
未収金	0		
Ⅱ 固定資産	0	Ⅱ 固定負債	0
有形固定資産	0	純資産の部	
機械装置	0	利益余剰金	△ 1,082,521
器具備品	0	前期繰越金	2,404,965
車両運搬具	0		
無形固定資産	0	純資産合計	1,322,444
ソフトウエア	0		
投資その他の資産	0		
資産合計	46,400,754	負債及び純資産合計	46,400,754

庶務報告Ｎｏ．２
令和７年７月１１日

区立幼稚園における弁当食材料費補助の実施について

学務課

１　目的

区立幼稚園に通う園児の保護者に対して、昼食の弁当食材料費を補助することで経済的負担の軽減を図るもの

２　内容

（１）補助対象

区立幼稚園に通う園児の保護者

（２）補助対象者数

約30人

（３）補助金額

弁当持参日一日当たり400円（月額上限8,000円）

（４）申請方法

対象者からの年度ごとの申請に基づき、区が弁当食材料費を補助する。

（５）補助金支給回数

学期ごとに年３回支給する。

３　実施時期

令和７年９月（予定）

※私立幼稚園と同時に開始予定

４　令和７年度経費見込み額

約１百万円

５　予算措置

令和７年度第二次補正予算案に計上予定

庶 務 報 告 Ｎ ｏ ． ３
令 和 ７ 年 ７ 月 １ １ 日

損害賠償等請求事件に係る訴えの一部取下げについて

教育指導課

次のとおり、損害賠償等請求事件に係る訴えの一部取下げがあったため、報告するもの

１　原告の主張

原告[redacted]は、中学２年生当時、葛飾区立[redacted]中学校の同級生らからいじめや国籍差別を受けたところ、葛飾区は、同中学校への監督責任及び安全配慮義務を怠ったものであり、これにより原告[redacted]とその父である原告[redacted]がＰＴＳＤを発症したから、加害生徒、その両親、[redacted]中学校の校長及び同校の当時の副校長と連帯して原告らの損害を賠償する責任を負う。

２　訴訟の内容（訴え提起時のもの）

⑴　事件名　[redacted]　損害賠償等請求事件

⑵　裁判所　東京地方裁判所

⑶　原告

ア　[redacted]

法定代理人（父）[redacted]

法定代理人（母）

イ　[redacted]

⑷　被告

ア　葛飾区

イ　[redacted]（校長）

ウ

（元副校長）

エ

法定代理人（父）

法定代理人（母）

オ

カ

キ

法定代理人（父）

法定代理人（母）

ク

ケ

コ

法定代理人（父）

法定代理人（母）

サ

シ

ス

法定代理人（父）

法定代理人（母）
セ
ソ
タ

法定代理人（父）
法定代理人（母）
チ
ツ
テ

法定代理人（父）
法定代理人（母）
ト
ナ

⑸　請求の趣旨

ア　被告らは、原告に対し、各自、金1,200万円及びこれに対する訴状送達の日の翌日から支払済みまで年５分の割合による金員を支払え。

イ　被告らは、原告に対し、各自、金1,465万7,194円及びこれに対する訴状送達の日の翌日から支払済みまで年５分の割合による金員を支払え。

ウ　被告は、ＳＮＳその他インターネット・プロバイダーにアップロードした画像削除手続をせよ。

エ　被告、同、同、同、同、同

[redacted]は、各自のスマートフォン等のインターネット送受信機器から、上記画像を削除せよ。

オ　被告[redacted]は、原告らに対し、ＳＮＳその他インターネット通信において、上記画像を送付した相手方の氏名、住所、ＳＮＳ若しくはインターネット上のアドレスを開示せよ。

カ　訴訟費用は被告らの負担とする。

との判決及びア、イについて仮執行の宣言を求める。

３　訴えの一部取下げ

⑴　取下げ範囲

原告[redacted]に係る訴えの全部を取り下げる。

⑵　理由

原告[redacted]が令和７年３月７日に独立行政法人日本スポーツ振興センターから障害見舞金1,820万円を受領したため

４　事件の経過

⑴　令和５年４月28日　訴えの提起（葛飾区へ訴状が送達されたのは、同年６月７日）

⑵　令和５年７月14日　第１回口頭弁論期日

⑶　令和５年10月13日　第２回口頭弁論期日

⑷　令和５年11月17日　第１回弁論準備手続期日

⑸　令和５年12月27日　第２回弁論準備手続期日

⑹　令和６年２月２日　第３回弁論準備手続期日

⑺　令和６年４月26日　第４回弁論準備手続期日

⑻　令和６年６月７日　第５回弁論準備手続期日

⑼　令和６年８月１日　第６回弁論準備手続期日

⑽　令和６年９月20日　第７回弁論準備手続期日

⑾　令和６年11月１日　第８回弁論準備手続期日

⑿　令和６年12月26日　第９回弁論準備手続期日

⒀　令和７年２月７日　第10回弁論準備手続期日

⒁　令和７年３月21日　第11回弁論準備手続期日

⑮　令和７年５月９日　第12回弁論準備手続期日

⑯　令和７年５月22日　原告による訴えの一部取下げ（葛飾区へ取下書が送達されたのは、同月30日）

５　区の方針

原告[redacted]の訴訟は係属しているので、引き続き、特別区人事・厚生事務組合法務部と協力して応訴する。

庶務報告Ｎｏ．４
令和７年７月１１日

「今後の水泳指導の実施方法に関する方針」の実施計画の更新に向けた事業経費等の分析について

学校教育推進担当課

１　目的

「今後の水泳指導の実施方法に関する方針」（以下「方針」という。）に基づく屋内温水プールを活用した水泳指導の全小学校の移行をより確実に進めていくため、事業経費等の分析を行うもの

２　屋内温水プールの水泳指導への移行実績及び事業経費の推移

年度	水泳指導委託 施設使用	バス移動	合計	移行校数
令和４年度	49,592,197円	26,043,780円	75,635,977円	12校
令和５年度	95,533,499円	54,570,320円	150,103,819円	24校
令和６年度	118,550,283円	102,557,161円	221,107,444円	27校
令和７年度	123,258,000円	172,671,000円	295,929,000円	26校

※移行校数は、試行実施校及び中学校１校を含む

※令和７年度は、予算額を記載

３　事業経費等の分析

別紙１及び別紙２のとおり

４　今後について

「３　事業経費等の分析」の結果を踏まえ、今後、施設整備の方向性の整理を含め、実施計画の更新を図っていく。

事業経費等の分析

別紙１

整備方針案概要

方針のとおり、計画的な水泳指導や熱中症対策など、学校内屋外プールにおいて生じている課題を解決することを目的とし、屋内温水プールへの移行を前提とするため、以下２案の事業経費等の比較を行う。

なお、従前の指導環境との比較として、学校内屋外プールの事業経費も参考として示す。

Ａ案：民間事業者等のプールを活用し、不足分については学校外屋内温水プールを整備
Ｂ案：今後の改築校に複数校が利用する学校内屋内温水プールを整備
参考：学校の改築に当たり、全ての小学校に屋外プールを整備（従前の環境を維持）

	学校内 屋外プール	学校内 屋内温水プール	学校外 屋内温水プール	民間事業者等	合計
A案			３施設(※1)	12施設(※2)	15施設
B案		10施設(※3)			10施設
参考	48施設				48施設

※１　１施設当たりの受入校数は、10校程度を想定
※２　民間事業者等の施設数は、令和７年度現在の実績数とする。なお、１施設当たりの受入校数は、２校程度を想定
※３　１施設当たりの受入校数は、５校程度を想定

推計における条件

・イニシャルコスト（施設整備）は、本区や他自治体の事例を参照し、**予算額等**により算出
・ランニングコスト（施設）は、過去の学校改築の実績から**施設の耐用年数を60年**に設定し、
「第３期葛飾区区有建築物保全工事計画」を踏まえ、**大規模改修は20年に１回行う**想定とした
・ランニングコスト（水泳指導）は、**令和７年５月１日時点の児童数20,076人**により算出
・ランニングコスト（水泳指導）のバス移動費は、**学校から徒歩で通うことのできる施設の距離を片道500m以内**とし、
徒歩対象学校分のバス台数を除いて算出
・学校内屋内温水プール及び学校外屋内温水プール共に、奥戸総合スポーツセンターを参考に**稼働日数を341日**と想定
学校内屋外プールは、実績を踏まえ、水泳指導に学校開放の日数を加え**稼働日数を72日**と想定
・プールの管理や引率等の人に係る経費については複雑で推計が困難なため除外
・インストラクターの配置（水泳指導の充実）に係る経費は除外
参考情報：令和６年度の実績より、全小学校にインストラクターを配置した場合のコストを試算すると、年間137,932千円。

※事業経費の項目ごとの内訳や推計条件の詳細は、別紙２「事業経費（概算）の内訳及び推計条件」を参照

A案：民間事業者等のプールを活用し、不足分については学校外屋内温水プールを整備

案の詳細（条件）

＜施設整備数＞
民間事業者等のプールの活用とのバランスを考慮し、３施設の整備を行うものとした。
１施設当たりの利用可能コマ数÷１校当たりの必要コマ数＝１施設当たりの受入可能校数
391コマ（５月～11月末の間、１日当たり４回実施を基本）÷42コマ（６学年×７回）≒10校
＜施設規模＞
新宿地区屋内温水プール：2,557.4㎡／お花茶屋地区屋内温水プール：3,042.47㎡／３施設目：2,557.4㎡（新宿と同規模を想定）
なお、３施設ともプールのレーン数は７レーン
＜移動手段＞
シミュレーションの結果、徒歩で通うことのできる学校数は９校、バス利用校数は39校と想定した。
＜施設運営＞
委託を想定

事業経費

（単位：千円）

大項目	小項目	金額	合計 A	１年当たりのコスト A/60年	１施設・１年当たりのコスト A/(３施設×60年)
イニシャルコスト（施設整備）	設計費	436,885	10,948,156	182,469	60,823
	工事費	10,511,271			
ランニングコスト（施設）	大規模改修費	17,247,802	28,427,251	473,788	157,929
	清掃・修繕等経費	6,480,000			
	光熱水費	4,699,449			
ランニングコスト（水泳指導）	バス移動費	11,140,108	21,521,522	358,692	119,564
	施設運営・使用費	10,381,414			
総事業経費			60,896,929	1,014,949	338,316

B案：今後の改築校に複数校が利用する学校内屋内温水プールを整備

案の詳細（条件）

＜施設整備数＞
条件①：敷地面積が小・中学校平均を上回っている／条件②：近隣に小学校が比較的多く位置している／条件③：改築を行っていない
以上の条件を踏まえ、中学校への整備を基本とする。
１施設当たりの利用可能コマ数÷１校当たりの必要コマ数＝１施設当たりの受入可能校数
288コマ（５月～11月末の間、１日当たり３回実施を基本）÷42コマ（６学年×７回）≒６校　６校－１校（中学校）＝５校
屋外プール利用校÷１施設当たりの受入可能校数＝施設整備数
48校÷５校≒10施設
＜施設規模＞
他自治体の事例等を参考に1,000㎡（５レーン）とした。
＜移動手段＞
シミュレーションの結果、徒歩で通うことのできる学校数は17校、バス利用校数は31校と想定した。
＜施設運営＞
委託を想定

事業経費

（単位：千円）

大項目	小項目	金額	合計 A	１年当たりのコスト A/60年	１施設・１年当たりのコスト A/(10施設×60年)
イニシャルコスト（施設整備）	設計費	699,000	12,999,000	216,650	21,665
	工事費	12,300,000			
ランニングコスト（施設）	大規模改修費	20,200,000	36,279,904	604,665	60,467
	清掃・修繕等経費	4,877,882			
	光熱水費	11,202,022			
ランニングコスト（水泳指導）	バス移動費	8,859,196	28,551,946	475,866	47,587
	施設運営・使用費	19,692,750			
総事業経費			77,830,850	1,297,181	129,718

A案・B案の比較

事業経費の比較

（単位：千円）

		イニシャルコスト	ランニングコスト	総事業経費 A	１年当たりのコスト A/60年	１日当たりのコスト A/（稼働日数×60年）	１人・１年当たりのコスト A/(20,076人×60年)
A案	合計	10,948,156	49,948,773	60,896,929	1,014,949	2,976	51
	１施設当たり	3,649,385	16,649,591	20,298,976	338,316	992	-
B案	合計	12,999,000	64,831,850	77,830,850	1,297,181	3,804	65
	１施設当たり	1,299,900	6,483,185	7,783,085	129,718	380	-
参考	合計	16,089,600	15,468,745	31,558,345	525,972	7,305	26
	１施設当たり	335,200	322,266	657,466	10,958	152	-

※A案のイニシャルコスト以外の１施設当たり経費は、民間事業者等のプール利用に係る経費も含め３施設で割り返して算出

事業経費以外の比較

	メリット	デメリット
A案	屋内温水プールへの移行について、全小学校の移行に必要な施設の整備数が３施設と、B案（10施設）に比べて早期の移行が可能	移動手段の確保について、バス移動が必要な学校数が39校となり、B案（31校）に比べ多くのバスを手配する必要がある。
B案	移動手段の確保について、バス移動が必要な学校数が31校となり、A案（39校）よりもバスの手配台数が少ない。	屋内温水プールへの移行について、全小学校の移行に必要な施設の整備数が10施設と、A案（３施設）に比べて移行に長期の期間を要する。

事業経費（概算）の内訳及び推計条件

別紙２

Ａ案:民間事業者等のプールを活用し、不足分については学校外屋内温水プールを整備

大項目	小項目		金額（円）	計算式	考え方
イニシャルコスト（施設整備）	設計費	測量	5,600,000	1,900,000円（新宿）＋1,800,000円（お花茶屋）＋1,900,000円（３施設目）	新宿地区プール：予算額／お花茶屋地区プール：予算額 ３施設目：新宿地区プールと同額
		地盤調査	47,600,000	16,300,000円（新宿）＋15,000,000円（お花茶屋）＋16,300,000円（３施設目）	新宿地区プール：予算額／お花茶屋地区プール：予算額 ３施設目：新宿地区プールと同額
		基本・実施設計	268,022,000	78,611,000円（新宿）＋110,800,000円（お花茶屋）＋78,611,000円（３施設目）	新宿地区プール：予算額／お花茶屋地区プール：予算額 ３施設目：新宿地区プールと同額
		工事監理	115,662,927	33,924,000円（新宿）＋47,814,927円（お花茶屋）＋33,924,000円（３施設目）	新宿地区プール：予算額／お花茶屋地区プール：お花茶屋地区プールの施設規模から推計／３施設目：新宿地区プールと同額
		小計	436,884,927		
	工事費		10,511,270,546	3,145,430,000円（新宿）＋4,220,410,546円（お花茶屋）＋3,145,430,000円（３施設目）	新宿地区プール：予算額／お花茶屋地区プール：新宿地区プールの予算額とお花茶屋地区プールの施設規模から推計／３施設目：新宿地区プールと同額
	合計		10,948,155,473		
ランニングコスト（施設）	大規模改修費		17,247,801,922	3,145,430,000円×48%/27%×60年/65年×２施設（新宿・３施設目）＋4,220,410,546円×48%/27%×60年/65年	建築物のライフサイクル（65年）に占めるコストの割合…工事費27%・修繕費48%（出典：「令和５年版建築物のライフサイクルコスト」）
	清掃・修繕等経費	清掃・設備保守	5,400,000,000	30,000,000円×60年×３施設	事業者ヒアリング
		修繕	1,080,000,000	6,000,000円×60年×３施設	事業者ヒアリング
		小計	6,480,000,000		
	光熱水費	電気	2,685,391,380	14,918,841円×60年×３施設	奥戸総合スポーツセンター温水プール館の光熱水費と学校外屋内温水プール施設規模から推計
		水道	2,014,057,620	11,189,209円×60年×３施設	
		小計	4,699,449,000		
	合計		28,427,250,922		
ランニングコスト（水泳指導）	バス移動費		11,140,107,900	110,189円×1,685台（39校分）×60年	令和７年度契約額から算出したバス単価と想定使用台数から推計
	施設運営・使用費		10,381,413,600	715円×6.5回×7,536人（18校分）×60年＋46,000,000円×３施設）×60年	民間施設使用費（契約額から算出した施設使用単価×指導回数×人数）＋施設運営管理経費（事業者ヒアリング）
	合計		21,521,521,500		
総合計			60,896,927,895		

※一部の算出において、端数処理を行っている。

※各項目の金額は現時点の試算であり、今後の社会状況の変化等により金額は増減する可能性がある。

Ｂ案：今後の改築校に複数校が利用する学校内屋内温水プールを整備

大項目	小項目		金額（円）	計算式	考え方
イニシャルコスト（施設整備）	設計費	測量	19,000,000	1,900,000円×10施設	新宿地区プール予算額準用
		地盤調査	163,000,000	16,300,000円×10施設	新宿地区プール予算額準用
		基本・実施設計	307,000,000	30,700,000円×10施設	新宿地区プール予算額から面積按分
		工事監理	210,000,000	21,000,000円×10施設	学校内屋内温水プールの想定規模から推計
		小計	699,000,000		
	工事費		12,300,000,000	1,230,000,000円×10施設	新宿地区プール予算額から面積按分
	合計		12,999,000,000		
ランニングコスト（施設）	大規模改修費		20,200,000,000	1,230,000,000円×48%/27%×60年/65年×10施設	建築物のライフサイクル（65年）に占めるコストの割合…工事費27%・修繕費48%（出典：「令和５年版建築物のライフサイクルコスト」）
	清掃・修繕等経費	清掃・設備保守	976,681,800	1,627,803円×10施設×60年	学校内屋外プールの各学校平均支出額及び事業者ヒアリング
		修繕	3,901,200,000	（8,220,000円×１回＋7,300,000円×３回＋6,000,000円×60回）×10施設	事業者ヒアリング
		小計	4,877,881,800		
	光熱水費	電気	6,406,646,400	10,677,744円×10施設×60年	奥戸総合スポーツセンター温水プール館の光熱水費と学校内屋内温水プール施設規模から推計
		水道	4,795,375,200	7,992,292円×10施設×60年	
		小計	11,202,021,600		
	合計		36,279,903,400		
ランニングコスト（水泳指導）	バス移動費		8,859,195,600	110,189円×1,340台（31校分）×60年	令和７年度契約額から算出したバス単価と想定使用台数から推計
	施設運営・使用費		19,692,750,000	96,250円×341日×10施設×60年	学校内屋外プール開放日の１日当たりのコスト×稼働日数
	合計		28,551,945,600		
総合計			77,830,849,000		

※一部の算出において、端数処理を行っている。

※各項目の金額は現時点の試算であり、今後の社会状況の変化等により金額は増減する可能性がある。

参考：学校の改築に当たり、全ての小学校に屋外プールを整備

大項目	小項目		金額（円）	計算式	考え方
イニシャルコスト（施設整備）	設計費	測量	91,200,000	1,900,000円×48施設	新宿地区プール予算準用
		地盤調査	782,400,000	16,300,000円×48施設	新宿地区プール予算準用
		基本・実施設計	960,000,000	20,000,000円×48施設	新宿地区プール予算単価と学校内屋外プールの想定規模から推計
		工事監理	480,000,000	10,000,000円×48施設	学校内屋外プールの想定規模から推計
		小計	2,313,600,000		
	工事費		13,776,000,000	287,000,000円×48施設	直近改築事例の工事費×物価上昇率
	合計		16,089,600,000		
ランニングコスト（施設）	大規模改修費	管理棟	3,498,528,000	36,443,000円×２回×48施設	標準建物予算単価×想定規模×大規模改修の回数
		プール	4,560,000,000	47,500,000円×２回×48施設	直近改修事例の工事費×物価上昇率×大規模改修の回数
		プールサイド	417,600,000	4,350,000円×２回×48施設	床張替工事単価×想定規模×大規模改修の回数
		小計	8,476,128,000		
	清掃・修繕等経費	清掃・設備保守	1,149,716,160	399,207円×48施設×60年	学校内屋外プールの各学校平均支出額
		修繕	941,843,520	327,029円×48施設×60年	学校内屋外プールの各学校平均支出額
		水質維持等	370,560,960	128,667円×48施設×60年	学校内屋外プールの各学校平均支出額
		小計	2,462,120,640		
	光熱水費	電気	1,792,990,080	622,566円×48施設×60年	学校内屋外プールの各学校平均支出額
		水道	2,737,506,240	950,523円×48施設×60年	学校内屋外プールの各学校平均支出額
		小計	4,530,496,320		
	合計		15,468,744,960		
ランニングコスト（水泳指導）	バス移動費		0		
	施設運営・使用費		0		
	合計		0		
総合計			31,558,344,960		

※一部の算出において、端数処理を行っている。

※各項目の金額は現時点の試算であり、今後の社会状況の変化等により金額は増減する可能性がある。

庶 務 報 告 Ｎ ｏ ． ５
令 和 ７ 年 ７ 月 １ １ 日

「葛飾柴又の文化的景観」の重要な構成要素「旧たなかや」保護の取組状況について

生涯学習課

「葛飾柴又の文化的景観」は平成29年度に国重要文化的景観として選定されている。今般、重要な構成要素として特定されている「旧たなかや」について、当該所有権が移転する中で重要な構成要素の滅失となる可能性があったところ、有形文化財として建造物を保存することについて現所有者の理解が得られたことから、これまでの経過と今後の取組について報告するもの

１　「旧たなかや」（大正期の当初建築部分）の価値

大正期前半という柴又の中でも最古級の建築であり、柴又の都市史・建築史上、重要かつ貴重な建造物である。また、向かいの「ゑびす家」とともに参道の連続するファサード（※１）の起点となり、かつ、帝釈天側から見た時のアイストップ（※２）ともなっている。「葛飾柴又の文化的景観」の中心的エリアに位置しており、文化的景観の景観構成要素としても貴重な存在である。

（「旧たなかや」調査報告書抜粋）

※１　建物を正面から見たときの外観

※２　人の視線を惹きつけ、注意を促すためのデザイン要素やオブジェ

２　経過

平成30年２月　「葛飾柴又の文化的景観」が国重要文化的景観に選定

平成31年頃　「葛飾柴又の文化的景観」の重要な構成要素である「たなかや」が廃業

令和４年８月　当該土地・建物の所有権が移転

令和６年８月　当該土地・建物の所有権を現所有者が取得

令和７年６月　「旧たなかや」（大正期の当初建築部分）について所有者より保存の意向が得られる。

区文化財保護審議会に有形文化財としての登録及び指定に向け諮問を行う。

3　区指定有形文化財候補建造物

（1）名　称　　（仮称）旧たなかや料亭

（2）所在地　　葛飾区柴又七丁目３番８号

（3）位置図　　別紙のとおり

4　今後の予定

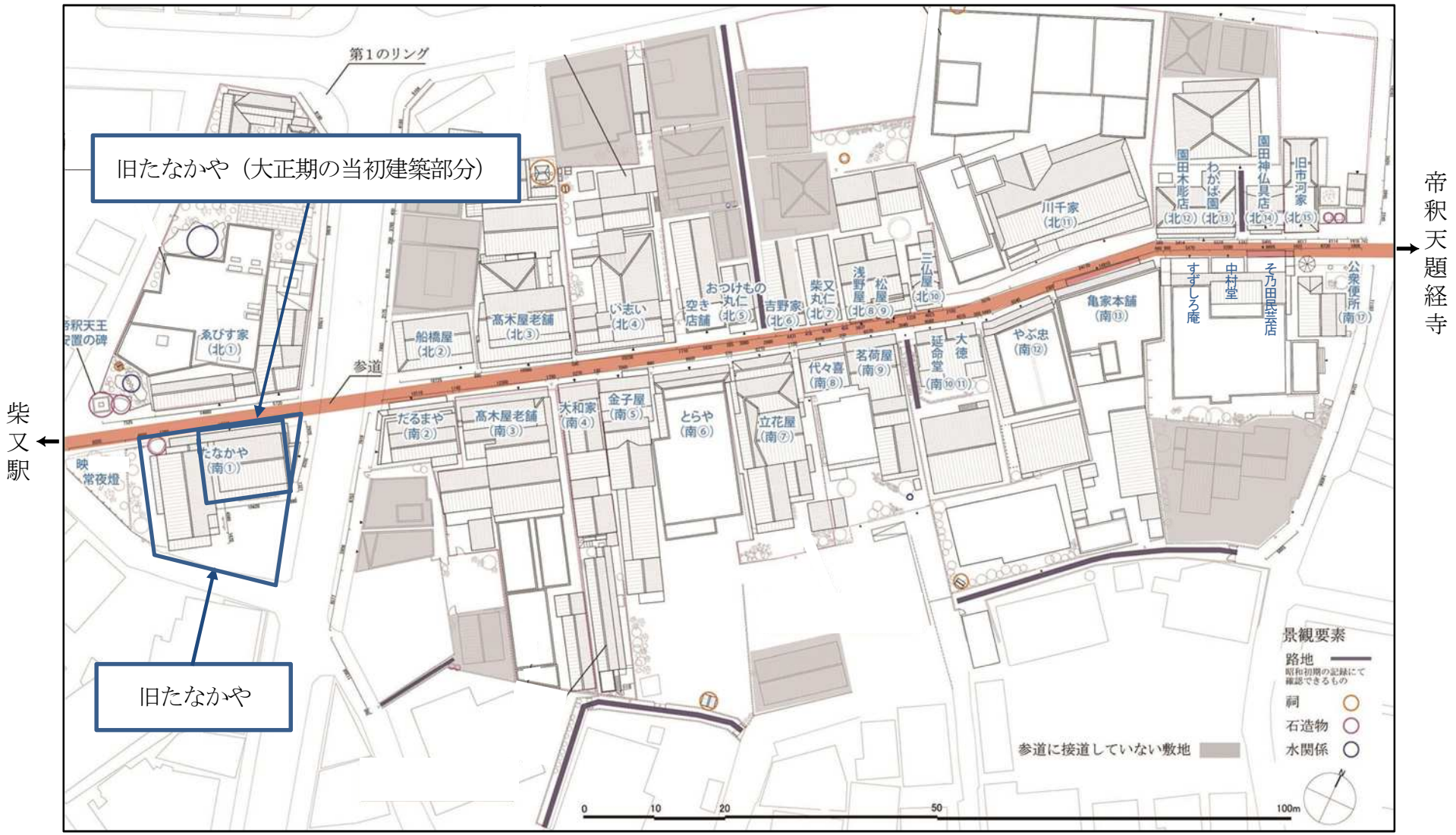
（1）有形文化財としての登録及び指定に係る区文化財保護審議会の答申が出された際は、当該告示を行うとともに、所有者が行う保存と活用に関わる計画の策定を支援する。

（2）所有者は、帝釈天参道の風情の継承とともに賑わい創出に寄与する店舗活用を検討しており、今年度から当該建造物の保存と活用に向けた設計を行い、できる限り早期に進めたい意向を持つため、葛飾区重要文化的景観保護推進事業補助金交付要綱に基づく当該経費の補助及び補正予算等による措置を検討する。

（3）重要な構成要素としての価値を継承するため、大正期の当初建築部分のみの保存となることに伴い、文化財保護法に基づく現状変更届等の手続きが必要となる。そのため、当該文化的価値を保存しながら、これらを円滑に進めていくことができるよう所有者の支援を行う。

別　紙

「旧たなかや」位置図


旧たなかや（大正期の当初建築部分）
旧たなかや
第1のリング
参道
柴又駅
帝釈天題経寺
景観要素
路地
昭和初期の記録にて確認できるもの
祠
石造物
水関係
参道に接道していない敷地
0
10
20
50
100m

庶務報告Ｎｏ．６
令和７年７月１１日

葛飾区体育施設指定管理者からの令和６年度管理運営報告の概要について

生涯スポーツ課

１　報告趣旨

地方自治法第244条の２第10項（指定管理者施設の管理業務・経理状況報告）及び葛飾区公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例第６条（事業報告書の提出）に基づき、葛飾区体育施設指定管理者から提出された令和６年度管理運営報告の概要について報告するもの。なお、葛飾区体育施設指定管理者として、住友不動産エスフォルタ・東洋管財共同事業体を指定している。

２　管理運営報告の概要

(1) 自主事業

体育施設においてヨーガや水泳等のスポーツコース等を展開し、区民の方々がスポーツや運動に親しみ、参加できる機会を提供する事業

〔主な事業〕　スポーツコース（親子・子ども向け、大人向け）

施設名	令和６年度		令和５年度		増減数	
	コース	参加者	コース	参加者	コース	参加者
奥戸総合スポーツセンター体育館	85	8,819人	72	10,358人	13	△ 1,539人
奥戸総合スポーツセンター温水プール館・エイトホール	43	1,695人	38	1,672人	5	23人
水元総合スポーツセンター体育館（温水プール等含む）	43	2,377人	43	2,536人	0	△ 159人
合計	171	12,891人	153	14,566人	18	△ 1,675人

(2) 体育施設利用状況

施設名		令和６年度		令和５年度		前年度比（増減数）	
		貸切件数 貸切人数	個人利用	貸切件数 貸切人数	個人利用	貸切件数 貸切人数	個人利用
奥戸総合スポーツセンター	体育館	4,675件 278,093人	107,550人	4,553件 266,874人	108,090人	122件 11,219人	△ 540人
	陸上競技場	752件 97,341人	50,604人	527件 74,159人	30,279人	225件 23,182人	20,325人
	温水プール館・エイトホール	3,029件 96,540人	116,095人	2,788件 94,720人	100,852人	241件 1,820人	15,243人
水元総合スポーツセンター体育館（温水プール等含む）		8,459件 295,535人	190,483人	7,866件 243,138人	172,311人	593件 52,397人	18,172人
屋外施設（野球場・屋外プール等）		57,409件 1,064,421人	7,479人	56,592件 1,045,832人	6,964人	817件 18,589人	515人
東金町クライミングセンター（令和６年度から指定管理）		479件 7,884人	28,272人	260件 6,455人	22,215人	219件 1,429人	6,057人
合　計		74,803件 1,839,814人	500,483人	72,586件 1,731,178人	440,711人	2,217件 108,636人	59,772人
利用人数総計		2,340,297人		2,171,889人		168,408人	

※東金町クライミングセンターは令和５年度まで直営にて運営

※令和６年度に改修工事のため施設の利用を１か月以上休止、制限したものは以下のア～イのとおり。

ア　奥戸総合スポーツセンター少年野球場改修工事
　　令和６年４月１日～令和６年８月18日

イ　奥戸総合スポーツセンター体育館照明改修工事
　　令和７年１月10日～令和７年３月28日

(3) 令和６年度収支決算概要

収入合計（A）	1,276,873,242円
支出合計（B）	1,235,419,446円
損益（A－B）	41,453,796円

(4) 区への還元

葛飾区体育施設の管理に関する年度協定書第６条に基づく

利用料金収入還元金　14,713,196円　　自主事業収入還元金　1,096,062円

※施設利用料金収入並びに自主事業収益がそれぞれの見込総額を超える場合に、施設利用料金収入については見込総額を超える金額に0.5を乗じた金額を、自主事業収益については見込総額を超える金額に0.2を乗じた金額を区へ還元するもの

(5) 外部機関による第三者評価の実施

公益財団法人日本スポーツ施設協会が実施する指定管理者外部評価を受けた。

評価点数88点（104点満点）で格付評価「ＡＡ」（格付け７段階中第２位、経営体制及び管理運営体制が安定的かつ良好な状態）の評価を受けた。

３　区の重点指導方針

令和６年度は第５期指定管理期間の１年目として、新たに東金町運動場スポーツクライミングセンターを管理施設とし、指定管理者としての専門的な知識やノウハウを活用して、区民がより安全・安心に利用できる施設となるよう指導・監督を行った。今後も「事業提案の確実な実行」「自治体・地域住民との協働」を念頭に安定した運営・維持管理に取り組ませるため、履行状況の把握に努め、適切に指導を行う。施設の維持管理面では、日常の点検・保守の的確な実施と適切な修繕を行い、区民にとって安全・安心及び快適に利用していただける施設環境を整えていくよう指導・監督を行っていく。

４　令和６年度　体育施設運営状況

(1) 損益計算書

令和６年４月１日から令和７年３月31日まで

(単位：円)

区分	合計		運営・維持管理業務会計		自主事業会計	
売上高						
指定管理料	694,372,000		694,372,000			
協定変更分	2,379,117	696,751,117	2,379,117	696,751,117		
売上高						
施設利用料金収入	452,173,393		452,173,393			
自動販売機収入	18,565,566				18,565,566	
自主事業収入	97,042,550				97,042,550	
その他収入	12,340,616	580,122,125	937,600	453,110,993	11,403,016	127,011,132
売上高計		1,276,873,242		1,149,862,110		127,011,132
売上原価（物販仕入等）						
販売物購入費	6,587,563	6,587,563		0	6,587,563	6,587,563
売上総利益		1,270,285,679		1,149,862,110		120,423,569
販売費及び一般管理費						
人件費	464,439,397		411,824,033		52,615,364	
消耗品費	17,011,964		14,741,756		2,270,208	
通信費	3,214,261		2,808,839		405,422	
広告費	4,505,439		3,946,940		558,499	
賃貸料	13,996,853		1,404,448		12,592,405	
維持管理経費	685,613,988		685,129,076		484,912	
雑費	17,349,312		15,699,221		1,650,091	
その他	22,700,669	1,228,831,883	15,964,311	1,151,518,624	6,736,358	77,313,259
営業損益		41,453,796		△ 1,656,514		43,110,310
営業外費用（還元額）						
施設利用料金還元	14,713,196		14,713,196	14,713,196		
自主事業還元	1,096,062	15,809,258			1,096,062	1,096,062
経常損益		25,644,538		△ 16,369,710		42,014,248

(2) 貸借対照表

令和７年３月31日　現在

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	39,523,398	預り金	19,716,830
未収入金	34,364,109	前受金	21,277,955
仮払金	0	仮受金	0
商品	1,121,727	未払費用	14,646,514
		未払消費税	37,832,267
固定資産		負債合計	93,473,566
有形固定資産	12,489,000	純資産の部	
器具備品	62,551,000	利益余剰金	56,575,668
		純資産合計	56,575,668
資産合計	150,049,234	負債及び純資産合計	150,049,234

令和６年度

葛　飾　区　体　育　施　設

事　業　報　告　書

生涯スポーツ課

目　　次

１　スポーツ事業

（１）生涯スポーツ課実施分　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

（２）指定管理者実施分　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

２　体育施設の利用状況

（１）体育施設の貸切（団体）・個人利用状況　・・・・・・・・・ 12

（２）体育施設予約システム登録者数　・・・・・・・・・・・・・ 12

（３）年末年始の実績状況　・・・・・・・・・・・・・ 13

３　利用料金収入の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

４　施設維持管理の状況

（１）指定管理者が実施した修繕　・・・・・・・・・・・・・ 15

（２）地産地消経営の実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

５　指定管理者運営状況

（１）指定管理者モニタリング実施実績　・・・・・・・・・・・・・ 16

（２）区・指定管理者間の連携体制　・・・・・・・・・・・・・ 16

（３）特に評価する事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

１　スポーツ事業

（１）生涯スポーツ課実施分

地域スポーツクラブ事業

		令和６年度		令和５年度		前年度比（増減数）	
	地域スポーツクラブ名	小計	合計	小計	合計	小計	合計
※会員数	NPO法人 こやのエンジョイくらぶ	573人	1,172人	574人	1,176人	△ 1人	△ 4人
	一般社団法人 オール水元スポーツクラブ	599人		602人		△ 3人	
※プログラム数（種目数）	NPO法人 こやのエンジョイくらぶ	36ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ (24種目)	87ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ (64種目)	44ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ (24種目)	96ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ (63種目)	△ 8ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ (0種目)	△ 9ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 1種目
	一般社団法人 オール水元スポーツクラブ	51ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ (40種目)		52ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ (39種目)		△ 1ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ (1種目)	
※年間プログラム総開催数	NPO法人 こやのエンジョイくらぶ	2,137回	3,637回	2,030回	3,544回	107回	93回
	一般社団法人 オール水元スポーツクラブ	1,500回		1,514回		△ 14回	
年間プログラム総参加数	NPO法人 こやのエンジョイくらぶ	27,570人	54,895人	26,803人	54,581人	767人	314人
	一般社団法人 オール水元スポーツクラブ	27,325人		27,778人		△ 453人	

地域スポーツクラブと学校連携事業

		令和６年度		令和５年度		前年度比（増減数）	
	地域スポーツクラブ名	小計	合計	小計	合計	小計	合計
※実施小学校数	NPO法人 こやのエンジョイくらぶ	9校	18校	10校	17校	△ 1校	1校
	一般社団法人 オール水元スポーツクラブ	9校		7校		2校	
※実施中学校数	NPO法人 こやのエンジョイくらぶ	0校	1校	0校	1校	0校	0校
	一般社団法人 オール水元スポーツクラブ	1校		1校		0校	
参加者数	NPO法人 こやのエンジョイくらぶ	1,487人	2,875人	1,533人	2,687人	△ 46人	188人
	一般社団法人 オール水元スポーツクラブ	1,388人		1,154人		234人	

少年スポーツ等推進事業

		令和６年度		令和５年度		前年度比（増減数）	
	６年度開催数	小計	合計	小計	合計	小計	合計
スポーツ教室	3教室	376人	12,431人	944人	13,657人	△ 568人	△ 1,226人
指導員養成講習会	1講習会	9人		7人		2人	
区民スポーツ大会	18大会	9,768人		10,089人		△ 321人	
その他の大会・教室	2大会	2,278人		2,617人		△ 339人	

高齢者健康づくり推進事業

		令和６年度		令和５年度		前年度比（増減数）	
	６年度開催数	小計	合計	小計	合計	小計	合計
スポーツ教室	3教室	204人	8,274人	65人	7,803人	139人※1	471人
指導員養成講習会	6講習会	118人		161人		△ 43人	
区民スポーツ大会	12大会	816人		546人		270人※2	
マスターズ大会	11大会	2,400人		2,421人		△ 21人	
ウォーキング・ ランニング推進事業	13事業	732人		718人		14人	
区民体力測定会	10回	4,004人		3,892人		112人※3	

○上表中「推奨スポーツ大規模大会」は、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、ダーツの推奨スポーツで行われる大会のことをいう。

※1スポーツ教室の充実による増

※2区民スポーツ大会の参加者増による増

※3出前体力テストの参加者増による増

障害者スポーツ推進事業

		令和６年度		令和５年度		前年度比（増減数）	
	６年度開催数	小計	合計	小計	合計	小計	合計
スポーツ教室	6教室	2,234人	4,362人	2,004人	2,295人	230人※1	292人
指導員養成講習会	1講習会	13人		9人		4人	
ボッチャ交流大会	2大会	113人		85人		28人	
フロアホッケー 交流競技大会	1大会	227人		197人		30人	
パラスポーツフェスタinかつしか2024		200人					
かつしかパラスポーツフェスタ		1,575人					

※1障害者トランポリン教室参加人数の増による増

区民体育大会

		令和６年度		令和５年度		前年度比（増減数）	
	６年度開催数	小計	合計	小計	合計	小計	合計
区民体育大会総合開会式	1回	880人	24,686人	840人	24,829人	40人	△ 143人
春季大会	33大会	11,797人		11,577人		220人	
夏季大会	3大会	672人		762人		△ 90人	
秋季大会	32大会	10,268人		10,217人		51人	
冬季大会	2大会	519人		517人		2人	
墨東五区大会	3大会	550人		916人		△ 366人	

区民スポーツイベント

		令和６年度	令和５年度	前年度比（増減数）
エンジョイスポーツ		2,639人	2,406人	233人
スポーツフェスティバル		36,288人	13,287人	23,001人※1
かつしかふれあいＲＵＮフェスタ	※申込者数	4,922人	4,572人	350人
	出走者数	4,258人	3,927人	331人
キャプテン翼CUPかつしか		23,424人	21,381人	2,043人※2

※1晴天プログラムでの開催による増

※2エキシビションマッチを２日開催したことによる増

地域スポーツ活動推進事業

	令和６年度	令和５年度	前年度比（増減数）
地区スポーツ大会（ロードレース等）	6,655人	7,411人	△ 756人※1
私学事業団総合運動場活用事業	0人	569人	△ 569人※2
コミュニティ健康体操	1,456人	1,348人	108人
※ニュースポーツ用具貸出件数	149件	153件	△ 4件

※1令和5年度17地区開催から令和6年度15地区開催による減

※2私学事業団総合運動場活用事業の廃止による減

	令和６年度	令和５年度	前年度比（増減数）
参加者数（計）	182,243人	156,181人	26,062人

○上記中「参加者合計」には、地域スポーツクラブ事業の「※会員数」、「※プログラム数（種目数）」、「※年間プログラム総開催数」、地域スポーツクラブと学校連携事業の「※実施小学校数」、「※実施中学校数」、区民スポーツイベントのかつしかふれあいＲＵＮフェスタの「※申込者数」、地域スポーツ活動推進事業の「※ニュースポーツ用具貸出件数」は含まない。

（２）指定管理者実施分

①スポーツコース事業実施コース数

	令和６年度		令和５年度		前年度比（増減数）	
	小計	合計	小計	合計	小計	合計
奥戸総合スポーツセンター体育館	85コース	171コース	72コース	153コース	13コース	18コース
奥戸総合スポーツセンター 温水プール館・エイトホール	43コース		38コース		5コース	
水元総合スポーツセンター体育館	43コース		43コース		0コース	

②スポーツコース事業参加人員数

	令和６年度		令和５年度		前年度比（増減数）	
	小計	合計	小計	合計	小計	合計
奥戸総合スポーツセンター体育館	8,819人	12,891人	10,358人	14,566人	△ 1,539人	△ 1,675人
奥戸総合スポーツセンター 温水プール館・エイトホール	1,695人		1,672人		23人	
水元総合スポーツセンター体育館	2,377人		2,536人		△ 159人	

●親子・子ども向けスポーツコース
（奥戸総合スポーツセンター体育館　スタジオ等）

	コース名	回数	令和６年度	令和５年度	前年度比
			参加人数	参加人数	（増減数）
1	キッズ運動教室（月）	1期11日×4期	43	42	1
2	ジュニア運動教室（月）	1期11日×4期	36	38	△ 2
3	親子ヨーガ（火）	1期8日×1期	1		1
4	キッズダンス（火）	1期12日×4期	19	27	△ 8
5	ジュニアダンス（火）	1期12日×3期	35	47	△ 12
6	ジュニアダンス（入門）（火）	1期12日×1期	6		6
7	ジュニアダンス（初中級）（火）	1期11日×1期	10		10
8	キッズ運動教室（水）	1期9日×4期	39	46	△ 7
9	ジュニア運動教室（水）	1期9日×4期	47	42	5
10	赤ちゃん親子産後ケア（木）	1期11日×2期	13	22	△ 9
11	ベビーヨーガ&ママヨーガ（木）	1期10日×2期	15		15
12	よちよち親子フィットリトミック（木）	1期11日×2期	15	15	0
13	キッズバレエ（木）	1期11日×4期		39	△ 39
14	ジュニアバレエ（木）	1期11日×4期		25	△ 25
15	よちよち親子体操名人（土）	1期11日×4期	42	36	6
16	わんぱく親子体操名人（土）	1期11日×4期	34	34	0

17	キッズＨＩＰＨＯＰ（土）	1期11日×4期	40	46	△ 6
18	ジュニアＨＩＰＨＯＰ（入門）（土）	1期11日×4期	48	40	8
19	ジュニアＨＩＰＨＯＰ（初中級）（土）	1期11日×4期	29	32	△ 3
20	キッズチア（日）	1期9日×4期	27	46	△ 19
21	ジュニアチア（日）	1期10日×2期	10	38	△ 28
	上記コース体験者数		96	89	7
小　計			605	704	△ 99

●親子・子ども向けスポーツコース

（奥戸総合スポーツセンター温水プール館　スタジオ、エイトホール、温水プール）

	コ　ー　ス　名	回　　数	令和６年度	令和５年度	前年度比
			参加人数	参加人数	（増減数）
1	キッズトランポリン（月）	1期9日×4期	35	49	△ 14
2	ジュニアトランポリン（月）	1期9日×4期	51		51
3	幼児スイミング（月）	1期8日×3期	66	66	0
4	小学生トランポリン（月）	1期10日×4期		63	△ 63
5	小学生スイミングＡ（月）	1期8日×3期	134	126	8
6	小学生スイミングＢ（月）	1期8日×1期	38		38
7	幼児スイミング（火）	1期9日×3期	68	39	29
8	キッズK-POPダンス（火）	1期10日×1期	0	20	△ 20
9	ジュニアK-POPダンス（水）	1期10日×4期	42	27	15
10	親子トランポリン（水）	1期9日×4期		24	△ 24
11	キッズトランポリン（水）	1期9日×4期	35	42	△ 7
12	ジュニアトランポリン（水）	1期9日×4期	56	62	△ 6
13	幼児バルシューレ（木）	1期8日×2期	11	17	△ 6
14	小学生バルシューレ（木）	1期8日×2期	13	20	△ 7
15	初めてのジュニアHIPHOP基礎（金）	1期11日×4期	16	42	△ 26
16	ジュニアHIPHOP初中級（金）	1期11日×4期	57	53	4
17	にこにこ親子体操（土）	1期9日×4期	24	27	△ 3
18	フィット＆ダンスＡ（土）	1期9日×4期	36	37	△ 1
19	フィット＆ダンスＢ（土）	1期9日×4期	37	28	9
20	小学生スイミングＡ（土）	1期8日×3期	142	122	20
21	小学生スイミングＢ（土）	1期8日×3期	141	81	60
22	幼児スイミング（土）	1期7日×1期	24		24
	上記コース体験者数		67	67	0
小　計			1,093	1,012	81

●親子・子ども向けスポーツコース

（水元総合スポーツセンター体育館　フィットネススタジオ・温水プール）

	コ　ー　ス　名	回　　数	令和６年度	令和５年度	前年度比
			参加人数	参加人数	（増減数）
1	キッズスイミング（木）	1期9日×3期	63	60	3
2	キッズ・ジュニアスイミング（木）	1期9日×3期	82	75	7
3	ジュニアスイミング（木）	1期9日×3期	86	71	15
4	キッズスイミング（土）	1期8日×3期	65	69	△ 4
5	キッズ・ジュニアスイミング（土）	1期8日×3期	79	84	△ 5
6	ジュニアスイミング（土）	1期8日×3期	87	83	4
7	キッズダンスHIPHOP（月）	1期10日×4期	29	22	7
8	ジュニアダンスHIPHOP（月）	1期10日×4期	44	67	△ 23
9	テーマパークダンス（火）	1期11日×4期	25		25
10	親子deリズム体操（火）	1期7日×3期		4	△ 4
11	キッズ運動名人（水）	1期9日×4期	58	25	33
12	ジュニア運動名人（水）	1期9日×4期	34	36	△ 2
13	わんぱく家族体操名人（土）	1期11日×4期	52	53	△ 1
14	フィットリトミック元気ファミリー（土）	1期11日×3期	16	16	0
15	ジュニア運動名人（土）	1期11日×4期	47	43	4
	上記コース体験者数		43	81	△ 38
小　計			810	789	21

●大人向けスポーツコース

（奥戸総合スポーツセンター体育館　トレーニングルーム・スタジオ等）

	コ　ー　ス　名	回　　数	令和６年度	令和５年度	前年度比
			参加人数	参加人数	（増減数）
1	楽しいバドミントン（初級）（月）	1期10日×4期	39	36	3
2	楽しいバドミントン（初中級）（月）	1期10日×4期	44	43	1
3	気功・太極拳（月）	1期11日×1期	0		0
4	脂肪燃焼エアロビクス（初中級）（月）	1期10日×4期	85	83	2
5	かんたんピラティス（月）	1期9日×4期	58	25	33
6	ハウスダンス（月）	1期11日×4期	11	3	8
7	ジャズダンス（月）	1期11日×1期	0	1	△ 1
8	いきいき健康体操はつらつ（月）	1期10日×4期	56	54	2
9	ベーシックヨーガ（月）	1期10日×4期	45	51	△ 6
10	シェイプ&リラックスヨーガ（月）	1期10日×4期	48	39	9
11	ZUMBA（月）	1期11日×4期	21	28	△ 7
12	ヨーガ（火）	1期12日×4期	48	47	1
13	脂肪燃焼エアロビクス(初中級)（火）	1期11日×2期	9		9
14	脂肪燃焼エアロビクス(初級)（火）	1期12日×4期		13	△ 13
15	脂肪燃焼エアロ＆ストレッチ（火）	1期11日×2期	9		9
16	肩こり腰痛改善教室（火）	1期11日×4期	41	22	19
17	かんたん筋トレ＆ストレッチ（火）	1期11日×4期	74	75	△ 1
18	姿勢改善ピラティス（火）	1期12日×4期	38		38
19	リフレッシュヨーガ（火）	1期12日×2期	10	10	0
20	かんたんヨーガ（火）	1期11日×2期	12		12

21	ストレッチ&やさしいピラティス（火）	1期11日×4期	59	45	14
22	アロマヨーガ（火）	1期12日×4期	60	42	18
23	シェイプアップエクササイズ（水）	1期9日×4期	29	25	4
24	骨盤ヨーガ（水）	1期9日×4期	41	27	14
25	24式太極拳（水）	1期9日×4期	52	27	25
26	ZUMBA（水）	1期9日×4期	38	36	2
27	機能改善エクササイズ（水）	1期8日×3期	13		13
28	パワーヨーガ（水）	1期10日×1期	4		4
29	ヨーガ（水）	1期9日×4期		37	△ 37
30	マラソン教室（水）	1期9日×4期	80	77	3
31	クラシックバレエ（水）	1期8日×1期	6		6
32	フラダンス（木）	1期11日×4期	58	90	△ 32
33	モーニングヨーガ（木）	1期11日×4期	21	19	2
34	ペルヴィスピラティス（木）	1期11日×4期	76	70	6
35	いきいき健康体操はつらつ（木）	1期11日×4期	100	88	12
36	ZUMBA（木）	1期11日×2期		7	△ 7
37	リラックスヨーガ（木）	1期11日×3期	22	32	△ 10
38	HIPHOP（木）	1期11日×4期	17	19	△ 2
39	K-POPダンス（水）	1期11日×4期	22	21	1
40	クラシックバレエ（木）	1期12日×4期	40	38	2
41	はじめてのエアロビクス（金）	1期12日×2期	7	32	△ 25
42	やさしいステップ&ストレッチ（金）	1期9日×2期	8		8
43	ZUMBA（金）	1期12日×3期	31		31
44	BODYART Training（金）	1期12日×2期	10	6	4
45	脂肪燃焼エアロビクス（初中級）（金）	1期11日×4期	53	64	△ 11
46	いきいき健康体操ゆったり（金）	1期11日×4期	92	80	12
47	骨盤ヨーガ（金）	1期12日×4期	39	27	12
48	Group Centergy（土）	1期10日×3期	29		29
49	Group Centergy（金）	1期10日×4期		47	△ 47
50	Group Fight（金）	1期10日×1期	14	41	△ 27
51	ペルヴィスピラティス（土）	1期11日×4期	142	143	△ 1
52	アロマヨーガ（土）	1期12日×4期	27	31	△ 4
53	ビューティーフラダンス（土）	1期11日×4期	75	57	18
54	クラシックバレエ（土）	1期11日×3期	12	22	△ 10
55	クラシックバレエ（土）	1期11日×4期	39		39
56	ベーシックヨーガ（土）	1期12日×2期	12	28	△ 16
57	リラクゼーションフローヨーガ（土）	1期10日×2期	14		14

58	マーシャルワークアウト（日）	1期11日×4期	73	55	18
59	ボディケアヨーガ（日）	1期11日×3期	24		24
60	デトックスヨーガ（日）	1期12日×1期	8	24	△ 16
61	BODY BALANCE（日）	1期10日×2期	23		23
62	Group Centergy（日）	1期10日×2期	44	78	△ 34
63	美姿勢骨盤エクササイズ（日）	1期12日×4期	42	26	16
64	Group Power（日）	1期10日×2期	26	45	△ 19
65	セルフメンテナンスヨーガ（日）	1期11日×4期	49	50	△ 1
	上記コース体験者数		402	2,152	△ 1,750
小　計			2,681	4,238	△ 1,557

●大人向けスポーツコース

（奥戸総合スポーツセンター温水プール館　スタジオ、エイトホール、温水プール）

	コ　ー　ス　名	回　　数	令和６年度	令和５年度	前年度比
			参加人数	参加人数	（増減数）
1	成人スイミング初中級（月）	1期8日×2期	23		23
2	大人の健康水泳（初・中級）（月）	1期3日×1期		6	△ 6
3	水中ウォーキング（月）	1期8日×3期	37	22	15
4	大人の水泳教室（月）	1期8日×3期	71	66	5
5	成人スイミング（初級）（月）	1期8日×１期	8	17	△ 9
6	成人スイミング（中級）（月）	1期8日×1期	4	6	△ 2
7	フラダンス（初級）（月）	1期9日×4期	31	17	14
8	フラダンス（中級）（月）	1期9日×4期	20	25	△ 5
9	はじめてのＫ－ＰＯＰダンス（火）	1期10日×2期	5	7	△ 2
10	はじめてのＫ－ＰＯＰダンス（水）	1期10日×2期	6		6
11	やさしいピラティス（水）	1期10日×4期	48	35	13
12	ヨーガ（水）	1期9日×4期	22	35	△ 13
13	はじめての大人トランポリン（水）	1期9日×4期	25		25
14	大人のトランポリンＡ（水）	1期9日×4期	37	37	0
15	大人のトランポリンＢ（水）	1期9日×4期	37	34	3
16	やさしいピラティス（木）	1期12日×4期	51	51	0
17	ヨーガ（金）	1期10日×3期	16		16
18	はじめてのヨーガ（金）	1期10日×4期		25	△ 25
19	リラックスヨーガ（金）	1期11日×4期	16	10	6
20	水中ウォーキング（金）	1期10日×3期	40	48	△ 8
21	水中ストレッチ（金）	1期9日×1期	10	24	△ 14
22	水中エクササイズ（金）	1期10日×2期	17		17
23	はじめてのクロール（土）	1期9日×1期	6	23	△ 17
24	はじめての平泳ぎ（土）	1期9日×1期	1	13	△ 12
25	はじめてのバタフライ（土）	1期8日×2期	15		15
	上記コース体験者数		56	159	△ 103
小　計			602	660	△ 58

●大人向けスポーツコース

（水元総合スポーツセンター体育館　フィットネススタジオ・温水プール）

	コース名	回数	令和６年度 参加人数	令和５年度 参加人数	前年度比 （増減数）
1	成人水泳 初級（月）	1期7日×3期	35	36	△ 1
2	アクアビクス＆アクアエクササイズ（火）	1期11日×3期	55	47	8
3	成人水泳 中級（月）	1期7日×3期	19		19
4	成人水泳 中級（水）	1期8日×3期	34	20	14
5	水中ウォーキング（木）	1期10日×3期	26	20	6
6	成人水泳 初級（木）	1期10日×3期	27	24	3
7	やさしいフラダンス（月）	1期10日×4期	66	69	△ 3
8	シニア健康体操（月）	1期10日×4期	142	126	16
9	姿勢改善ピラティス（月）	1期10日×4期	107	82	25
10	Group Fight（月）	1期10日×4期	35	55	△ 20
11	リラックスヨーガ（火）	1期12日×3期	43	56	△ 13
12	ZUMBA（火）	1期11日×4期	39	13	26
13	毎日のヨーガ（火）	1期10日×1期	15		15
14	やさしいヨーガ（火）	1期4日×1期	0		0
15	ヨーガ（火）	1期11日×1期		0	0
16	Group Centergy（火）	1期11日×4期	48	14	34
17	アロマヨーガ（火）	1期10日×2期		16	△ 16
18	バレエ入門（火）	1期11日×3期		21	△ 21
19	バレエ初中級（火）	1期11日×2期		10	△ 10
20	クラシックバレエ（火）	1期11日×4期	40	7	33
21	ジャズダンス（火）	1期11日×4期	6		6
22	太極拳（水）	1期9日×4期	44		44
23	やさしいヨーガ（水）	1期9日×4期	82	73	9
24	やさしいエアロ＆アロマストレッチ（水）	1期9日×4期	31	37	△ 6
25	エンジョイ脂肪燃焼STEP（木）	1期11日×4期	35	7	28
26	STEP&ストレッチ（木）	1期11日×3期		17	△ 17
27	らくらくストレッチ（木）	1期11日×4期	168	148	20
28	いきいき健康体操（木）	1期11日×4期	94	85	9
29	ZUMBA（木）	1期10日×4期	17	0	17
30	セルフメンテナンスヨーガ（木）	1期11日×4期	36	38	△ 2
31	フラダンス（金）	1期11日×4期	78	69	9
32	アロマヨーガ（金）	1期11日×4期	41	35	6
33	かんたんエアロ&ストレッチ（金）	1期11日×2期	2		2
34	美姿勢ストレッチ（金）	1期11日×4期		29	△ 29
35	フローヨーガ（金）	1期11日×4期		8	△ 8
36	HIPHOP初級（土）	1期11日×2期	7		7
	上記コース体験者数		195	585	△ 390
小　計			1,567	1,747	△ 180

●オープンコース

（奥戸総合スポーツセンター体育館　　トレーニングルーム）

	コ　ー　ス　名	回　　数	令和６年度 参加人数	令和５年度 参加人数	前年度比 （増減数）
1	ゆったりヨーガストレッチ	週１回（月）	1,201	1,285	△ 84
2	骨盤ストレッチ	週１回（水）	904	993	△ 89
3	リフレッシュ体操	週１回（水）	896	956	△ 60
4	やさしい太極拳	週１回（木）	1,009	931	78
5	健康ストレッチ	週１回（金）	1,523	1,251	272
小　計			5,533	5,416	117

●合計

	令和６年度	令和５年度	前年度比 （増減数）
参加者数（計）	12,032	11,433	599
体験者数（計）	859	3,133	△ 2,274
総合計	12,891	14,566	△ 1,675

③スポーツ情報の提供事業

ア　葛飾区体育施設利用案内　作成・配布
イ　広報かつしか１５日号の１１面活用　毎月１回年12回
ウ　スポーツ情報の交換・提供のための掲示場所提供　掲示件数15件
エ　かつしかＦＭ　取材件数　0件
オ　チラシ作成（新聞折込・ポスティング活動）　年11回

④その他のスポーツ自主事業

ア　子どもスポーツスクール

	開催回数（回）	利用者数（人）
新体操	36	195
体育	36	354
チアダンス	96	2,752
ＨＩＰＨＯＰ	48	716
バレエ	48	932
合計	264	4,949

イ　フットサルリーグ
令和７年３月末現在登録チーム数　32チーム
（公式試合　401件　練習試合　742件　紅白戦　242件）

ウ　子どもボルダリングスクール

開催回数（回）	36
利用者数（人）	126

エ　イベントレッスン

	開催回数（回）	利用者数（人）
テニス教室	8	324
短期水泳教室	51	888
その他（お試し等）	100	1,157
合計	159	2,369

オ　当日参加型教室

開催回数（回）	1,459
利用者数（人）	8,848

カ　パーソナルレッスン

開催回数（回）	156
利用者数（人）	156

キ　かつしかゴールデンウィークスポーツイベント

開催回数（回）	1
利用者数（人）	2,557

ク　かつしかスポーツフェスティバル２０２４協力（相撲部屋ブースちゃんこ鍋販売）

開催回数（回）	1
利用者数（人）	1,850

２　体育施設の利用状況

（１）体育施設の貸切（団体）・個人利用状況

施設名		令和６年度		令和５年度		前年度比（増減数）	
		貸切件数 貸切人数	個人利用	貸切件数 貸切人数	個人利用	貸切件数 貸切人数	個人利用
奥戸総合スポーツセンター	体育館	4,675件 278,093人	107,550人	4,553件 266,874人	108,090人	122件 11,219人	△ 540人
	陸上競技場	752件 97,341人	50,604人	527件 74,159人	30,279人	225件 23,182人	20,325人
	温水プール館	3,029件 96,540人	116,095人	2,788件 94,720人	100,852人	241件 1,820人	15,243人
水元総合スポーツセンター 体育館		8,459件 295,535人	190,483人	7,866件 243,138人	172,311人	593件 52,397人	18,172人
屋外施設 （野球場・屋外プール等）		57,409件 1,064,421人	7,479人	56,592件 1,045,832人	6,964人	817件 18,589人	515人
東金町 クライミングセンター ※令和６年度より指定管理		479件 7,884人	28,272人	260件 6,455人	22,215人	219件 1,429人	6,057人
合　計		74,803件 1,839,814人	500,483人	72,586件 1,731,178人	440,711人	2,217件 108,636人	59,772人
利用人数総計		2,340,297人		2,171,889人		168,408人	

（２）体育施設予約システム登録者数

（令和7年3月31日現在）

	令和６年度	令和５年度	前年度比（増減数）
個人登録	21,715人	20,170人	1,545人
グループ登録	2,293人	2,117人	176人
少年少女団体登録	680人	640人	40人
法人登録	477人	445人	32人
合計	25,165人	23,372人	1,793人

（３）年末年始の実績状況

①年末年始施設開場状況

開場期間	開場施設		
	令和６年度		令和５年度
12月29日 ～12月30日 及び １月４日	小菅東スポーツ公園テニスコート、東金町運動場スポーツクライミングセンター、東新小岩運動場を除いた全施設		小菅東スポーツ公園テニスコート、東金町運動場スポーツクライミングセンターを除いた全施設
12月31日 ～１月３日	奥戸 総合スポーツセンター 体育館	・トレーニングルーム ・大体育室、小体育室 ・弓道場 ・アーチェリー場	・トレーニングルーム ・大体育室、小体育室 ・弓道場 ・アーチェリー場
	奥戸 総合スポーツセンター 温水プール館	・温水プール ・エイトホール ・テニスコート （ナイター利用可）	・温水プール ・エイトホール ・テニスコート （ナイター利用可）
	水元 総合スポーツセンター 体育館	・温水プール ・トレーニングルーム ・アリーナ（メイン、サブ） ・テニスコート	・温水プール ・トレーニングルーム ・アリーナ（メイン、サブ） ・テニスコート
	その他屋外施設	・渋江公園テニスコート ・上千葉公園テニスコート ・東金町運動場 テニスコート、多目的広場 ・にいじゅくみらい公園運動場 テニスコート、多目的広場 ・小菅西公園フットサル場	・渋江公園テニスコート ・上千葉公園テニスコート ・東金町運動場 テニスコート、多目的広場 ・にいじゅくみらい公園運動場 テニスコート、多目的広場 ・小菅西公園フットサル場

②年末年始利用実績

		令和６年度			令和５年度			前年度比（増減数）		
		年末計	年始計	合計	年末計	年始計	合計	年末計	年始計	合計
貸切利用	件数	700	527	1,227	651	512	1,163	49	15	64
	人数	9,645	4,530	14,175	6,943	4,045	10,988	2,702	485	3,187
個人利用	人数	6,104	5,654	11,758	4,390	4,566	8,956	1,714	1,088	2,802
利用人数総計		15,749	10,184	25,933	11,333	8,611	19,944	4,416	1,573	5,989

※令和6年度に東金町運動場スポーツクライミングセンターが追加された。

3　利用料金収入の状況

区分		令和６年度		令和５年度		前年度比（増減数）	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
奥戸総合スポーツセンター体育館	施設使用料	69,664	76,769,200	69,520	73,892,380	144	2,876,820
	器具使用料	1,586	1,755,270	1,645	1,757,350	△ 59	△ 2,080
	駐車場使用料	50,587	22,614,100	46,396	20,615,340	4,191	1,998,760
	計	121,837	101,138,570	117,561	96,265,070	4,276	4,873,500
奥戸総合スポーツセンター 陸上競技場	施設使用料	28,556	11,794,643	16,432	7,941,406	12,124	3,853,237
	器具使用料	633	1,166,290	458	897,560	175	268,730
	計	29,189	12,960,933	16,890	8,838,966	12,299	4,121,967
奥戸総合スポーツセンター 温水プール館	施設使用料	76,077	47,289,700	68,605	41,934,520	7,472	5,355,180
	器具使用料	280	268,730	248	254,300	32	14,430
	駐車場使用料	39,296	17,240,500	34,865	14,508,540	4,431	2,731,960
	計	115,653	64,798,930	103,718	56,697,360	11,935	8,101,570
水元総合スポーツセンター体育館	施設使用料	113,849	90,914,065	106,977	82,141,530	6,872	8,772,535
	器具使用料	1,470	1,204,560	1,301	1,254,680	169	△ 50,120
	駐車場使用料	64,000	24,985,640	57,377	22,577,460	6,623	2,408,180
	計	179,319	117,104,265	165,655	105,973,670	13,664	11,130,595
屋　外　施　設	施設使用料	90,162	99,359,360	60,211	86,825,110	29,951	12,534,250
	器具使用料	5,707	8,567,935	5,837	8,671,980	△ 130	△ 104,045
	駐車場使用料	112,421	48,243,400	101,835	35,237,800	10,586	13,005,600
	計	208,290	156,170,695	167,883	130,734,890	40,407	25,435,805
合計	施設使用料	378,308	326,126,968	321,745	292,734,946	56,563	33,392,022
	器具使用料	9,676	12,962,785	9,489	12,835,870	187	126,915
	駐車場使用料	266,304	113,083,640	240,473	92,939,140	25,831	20,144,500
	計	654,288	452,173,393	571,707	398,509,956	82,581	53,663,437

４　施設維持管理の状況

（１）指定管理者が実施した修繕

令和６年度において、以下のとおり指定管理者による修繕が実施された。
基本的に50万円未満の修繕については、指定管理者の判断で実施できることとしているが、今後の施設の維持管理・運営に影響が大きいと考えられる不具合については、金額にかかわらず状況報告と対応策（修繕方法）の提案並びに協議を行っている。

（単位：円）

主　な　内　訳	件数	金額
奥戸総合スポーツセンター体育館、陸上競技場 中央監視装置主要機器更新修繕、陸上競技場　給湯機更新工事、屋外Cトイレピット内汚水管交換工事、陸上競技場　人工芝整備費、奥戸少年野球場グランド特別整備費	56	14,616,949
奥戸総合スポーツセンター温水プール館 環七側ｴｲﾄﾎｰﾙ野球場間舗装補修工事、プール棟屋外給水主管切回し配管修繕、屋内プール用残留塩素濃度計交換、プール用薬剤注入ポンプ交換修繕、女子更衣室入口防災シャッター修繕	36	23,053,781
水元総合スポーツセンター 多目的広場人工芝メンテナンス、プール男子更衣室水着用脱水更新修繕、プール空調機顕熱交換器修繕、冷温水ポンプ修繕×3台、温水２次ポンプ修繕×3台	39	11,248,024
その他屋外施設 東金町運動場多目的広場管球照明修繕、葛飾にいじゅくみらい公園運動場テニスコートB面照明修繕、砂入り人工芝張替工事、多目的広場ランプ交換工事/カラスの巣撤去、プリペイドカードリーダー修理	48	8,447,122
合計	179	57,365,876

（２）地域に根差した経営の実施

①　必要な人員の積極的な地元採用

全従業員336人中区内在住者237人で70.5％（前年度71.1％）

②　区内企業や区内事業者への優先発注

修繕の実施に際しては、メーカー指定などの特殊な事案や本体企業全体として発注することにより経費が大きく低減するなどの事案等を除き、区内業者への発注に努めている。

件数ベースでは全179件中81件で45.3％（前年度56.1％）、金額ベースでは35,881,015円で62.5％（前年度58.6％）を区内事業者へ発注した。

5　指定管理者運営状況

（1）指定管理者モニタリング実施実績

① 運営・設備及び自主事業に関する苦情・要望に関する報告（四半期ごと）

ご意見箱、現場及び電話での意見集約など各種モニタリング活動を通して、安定的な利用者満足の向上に取り組んでいる。意見・要望に対しては、対応可能かどうか、どのように対応するかを含め、回答を行っている。

・第三者評価（令和７年度内実施）
・利用者懇談会の定期開催（令和６年度は３回実施）
・利用者満足度調査（令和６年 11 月 11 日～令和６年 11 月 24 日実施）
・セルフモニタリング

② 利用者懇談会開催

第１回（令和６年 11 月５日）	参加者：秋の社会人テニス教室参加者
	場所：奥戸総合スポーツセンター温水プール館
第２回（令和７年３月 18 日）	参加者：アロマヨーガ参加者
	場所：奥戸総合スポーツセンター体育館
第３回（令和７年３月 31 日）	参加者：GroupFight60 参加者
	場所：水元総合スポーツセンター体育館

（2）区・指定管理者間の連携体制

① 定期連絡会の開催（毎月１回）

・区からの連絡、指示及び協議提案等
・指定管理者からの報告、協議提案等

② 四半期報告会

・運営状況及び今後の運営方針
・対利用者モニタリング結果と対応の報告
・設備維持管理状況等報告
・指定管理者から履行状況のセルフモニタリング報告
・履行状況に関する区の見解と今後の履行計画の協議

③ その他

運営管理、維持管理に関して、適宜、区と指定管理者間で連絡及び協議を行っている。

（３）特に評価する事項

①　本来業務（自主事業を除く施設の貸出等）の改善

令和６年５月、水元総合スポーツセンタートレーニングルームにおいて、トレーニング機器の更新及びレイアウトの変更を行った。その結果、令和６年度のトレーニングルームの個人利用者数は令和５年度と比較して 13,314 人、コロナ禍前の平成 30 年度と比較して 1,868 人増加した。

令和６年度の体育施設利用者数は、全施設において、個人利用では前年比 59,772 人の増、団体利用では前年比 108,636 人の増となった。

②　自主事業の展開

ア　親子・子ども向けスポーツコース

令和６年４月より、東金町運動場スポーツクライミングセンターが指定管理施設に追加されたことにより、指定管理者によって子ども向けのスポーツクライミングの教室が新しく開講され、好評を博した。

例年参加申込みが多く、利用者から増設の希望が多く寄せられているコースについては、時間帯を変更することで定員数を増やし、利用者の要望に対応した。

イ　イベント事業の実施

令和６年５月６日、奥戸総合スポーツセンター体育館、温水プール館、水元総合スポーツセンターの３施設にて、かつしかスプリングフェスタ 2024 を実施した。リガーレヴィア葛飾主催のフットサルブース、元プロ野球選手によるレッスン、トランポリン・ボッチャ体験等を実施し、参加者が様々なスポーツに触れる機会を提供するとともに、体育施設の認知度向上と利用促進に寄与した。

写

外部評価報告書

≪令和7年度版≫

事業体名：　住友不動産エスフォルタ・東洋管財共同事業体
施設名　：　葛飾区奥戸総合スポーツセンター
　　葛飾区水元総合スポーツセンター

令和7年7月

公益財団法人 日本スポーツ施設協会

1 評価結果

住友不動産エスフォルタ・東洋管財共同事業体が指定管理者である葛飾区奥戸総合スポーツセンター並びに水元総合スポーツセンターは、公益財団法人日本スポーツ施設協会が定める外部評価基準に基づく評価において、以下の点数及び格付けであることを認定する。

評価点数	８８点
格付評価	AA

評価得点率	総評価点	格付	摘　要
最高点の９０％以上	94 以上	AAA	経営体制及び管理運営体制が極めて安定的かつ良好な状態
同上の８０～９０％未満	84～93	AA	経営体制及び管理運営体制が安定的かつ良好な状態
同上の７５～８０％未満	78～83	A	経営体制及び管理運営体制が概ね安定的かつ良好な状態
同上の７０～７５％未満	73～77	BBB	経営体制及び管理運営体制は普通で特段の支障がない状態
同上の６５～７０％未満	68～72	BB	経営体制及び管理運営体制に若干留意すべき状態
同上の６０～６５％未満	63～67	B	経営体制及び管理運営体制の一部に問題がある状態
同上の６０％未満	62 以下	C	経営体制及び管理運営体制に改善の必要がある状態

2 評価対象施設

評価の対象施設の管理運営者、施設名称は以下のとおり。

1　管理運営者	住友不動産エスフォルタ・東洋管財共同事業体
所在地	東京都葛飾区奥戸７丁目－１７－１
2　施設名称	葛飾区奥戸総合スポーツセンター 葛飾区水元総合スポーツセンター
所在地	東京都葛飾区奥戸７丁目１７　１（奥戸） 東京都葛飾区水元１丁目２３－１（水元）
（内訳）	（奥戸）体育館、武道場、弓道場、アーチェリー場、エアライフル場、陸上競技場、温水プール館、ライトホール、トレーニングルーム、野球場　他 （水元）体育館、武道場、温水プール、フィットネススタジオ、トレーニングルーム、会議室、地域交流ホール、テニスコート、多目的広場　他

3 評価点

1） 評価点総括表

評価項目	配点	自己評価点	外部評価点
Ⅰ　安定的経営姿勢・運営実施体制	１９点	１６点	１５点
Ⅱ　平等利用の確保	９点	９点	９点
Ⅲ　コンプライアンス	１０点	９点	８点
Ⅳ　施設の効用の最大限発揮	１５点	１５点	１５点
Ⅴ　適正な管理運営	１６点	１３点	１１点
Ⅵ　安全管理	１６点	１５点	１２点
Ⅶ　地域交流	６点	６点	６点
Ⅷ　モニタリング	６点	６点	６点
Ⅸ　A）加算評価項目	２点	２点	２点
Ⅸ　B）現場確認	５点	―点	４点
Ⅸ　C）格付け評価項目	―	―	―
総　計	１０４点	９１点	８８点

4 評価内容

1） 総論

○組織体制、管理運営体制が安定的かつ良好な状態である。
○管理運営、安全管理において、課題が確認されており、改善が望まれる。

2） 優れた点

当該事業体の主な優れた点・特徴点としては、次のことが挙げられる。

【安定的経営姿勢・運営実施体制】

○マネージャー会議、スタッフミーティングにより経営・管理運営情報が共有されている。

○仕様書の定めを上回る人員体制に加え、公認上級スポーツ施設管理士や健康運動指導士等の専門的な知識やスキルを有する人員を配置し、施設運営を行っている。

○各種規程やマニュアルが策定され、適切に運用されている。さらに定期的な見直し、改訂が行われていることから、常に最新情報が確認できる状態である。

【平等利用の確保】

○平等利用の確保に向け、階段手摺の増設を実施するなど、積極的にユニバーサルデザイン化に努めている。

○葛飾区スポーツ専門広報誌「スポーツかつしか」を、広報スペースを設けて毎月 25 万部程度発行、配布している。さらにホームページを随時更新し、最新情報の発信に努めている。

【コンプライアンス】

○社員の適正な労働環境の確保のため、従業員の休暇制度、福利厚生制度の取得実績を確認している。委託先従業員の労働環境及び労働状況を毎月、勤務表にて確認している。

○情報漏洩防止のため、順次データレス PC の導入を進め、情報管理に注力している。

【施設の効用の最大限発揮】

○利用者満足度調査、商圏分析を行い、その分析結果を踏まえ、チラシの配布地域の検討等、必要な対応を行っている。

○利用者からの意見・苦情に対して、担当者及びホームページ窓口を設置している。意見・苦情があった際には、直ちに検証の上、改善策を立てた上で「お客様対応報告書」を作成し、改善事例を社内全職員で共有している。

【適正な管理運営】

○総利用者数、利用料金収入等を毎月集計し、分析結果を取りまとめ、適正な管理運営に努めている。報告書は葛飾区に提出している。

○施設の修繕において、「中期修繕計画」「年度営繕計画」等を策定している。外部業者に設備点検・工事を発注する場合は、複数社の見積をもとに業者を選定し、適正な施設の管理に努めている。

【安全管理】

○緊急時の防災拠点として、従業員や利用者のための食料や水、簡易トイレや毛布などが備えられている。

○利用者の体調管理に対する取組として、WBGT 値に基づいた注意喚起表示や雷検知器などが整備されている。

【地域交流】

○毎年、利用者懇談会や VOC アンケート、三者連絡会を実施し、地域連携・貢献に努めている。

【その他】

○障害者雇用促進法の基準を上回る障がい者の雇用を行っている(事務局員として従事されている)。

3) 留意点

当該事業体の主な留意点としては、次のことが挙げられる。

【研修・教育体制】

○業務運営に必要な教育研修を実施しているが、参加対象者に委託業者が含まれていない。年間計画を作成し、様々な研修を実施していることは評価できるが、委託業者に対しても研修の参加を依頼することが望まれる。

【適正な管理運営】

○トレーニング機器等、利用者が使用する器具・設備等について日次点検が実施されていない。機器等による事故を未然に防ぐためにはチェックリストを作成し、担当従業員が毎日機器の状態を確認することが重要である。

【安全管理】

○コンプライアンス担当者の巡回による施設整備が行われているが、ヒヤリハット事例の収集、集計が実施されていない。事故を未然に防ぐためには、コンプライアンス担当に限らず、全従業員から広く情報を収集し、集約・分析・共有することが望まれる。

○一部の教室ではヘルシーチェックによる体調確認が実施され、記録が保管されているが、多くの教室にて体調確認が実施されていない。利用者の安全管理の観点から、各教室において参加者の体調確認が実施されることが望まれる。

○直近3年での救命救急講習（CPR&AED含む）の受講率が全従業員の半数に満たない状況である。CPR練習を毎出勤時に実施しており、現場従業員の安全管理意識の向上に努めていることは評価できるが、有事の際に現場スタッフが正しい知識を持って救命措置を行えるよう、公的法人等が実施する講習を定期的に受講することが望まれる。

【その他】

○事業計画、収支予算など可能な範囲内で事業運営に係る資料も同様に公表することが望まれる。

4）現場確認

現場確認結果として次のことが挙げられる。

○奥戸総合体育館の事務所内において、電子レンジと給湯ポットが一つの電源タップに接続されている。これらの機器を同時に使用すると、電源タップの許容電力量を超過し、火災の危険性がある。電子レンジと給湯ポットは別々のコンセントから給電するよう、配線の見直しが望まれる。

○水元総合スポーツセンターの事務所内では、多数のスプレー缶が通行動線上に保管されている。従業員がこれらのスプレー缶を踏んで転倒する危険性があるため、保管棚などへの収納が望ましい。

○水元総合スポーツセンター体育館への出入口にて、防火扉が常時開放されている。火災時には閉鎖が必要な扉であるため、「火災時には閉鎖する」等を表示することが望ましい。

結果報告

訪問調査実施日　令和7年6月6日

訪問調査者氏名　（公財）日本スポーツ施設協会　評価員　中川　隼

同　上　評価員　笠間　徹也

委員会開催日　令和7年7月3日

（公財）日本スポーツ施設協会　認定員　野川春夫

同　上　認定員　小菅　司

以上、外部評価調査結果を認定します。

東京都豊島区巣鴨２－７－１４

巣鴨スポーツセンター別館３階

公益財団法人　日本スポーツ施設協会

会長　大　東　和　美

庶務報告Ｎｏ．７
令和７年７月１１日

葛飾区体育施設条例における営利を目的とする場合について

生涯スポーツ課

１　葛飾区体育施設条例の改正概要

陸上競技場、多目的広場、フットサル場及び球技場の貸切り利用に「営利を目的とする場合」の利用区分を加え、その利用料金の限度額については体育目的又は体育目的以外で使用する場合の100分の200相当額とする改正を行った。

２　営利を目的とする場合

（１）対象となる使用者の判断基準

法人についてはその形態により判断し、株式会社や合同会社及び合資会社等の営利法人については利用方法に応じて対象となるが、特定非営利活動法人や一般社団法人及び一般財団法人等の非営利法人の活動は対象としない。また、個人については活動内容により判断する。

なお、非営利法人の活動であっても、営利法人等と共同で実施している場合は対象となり得る。

（２）営利を目的とする場合に該当する利用方法

「営利を目的とする場合」は「入場料その他これに類する料金を徴収する場合」及び「興行を目的とする場合」以外で以下の利用方法が該当する。

ア　営利法人等が参加者から月謝等を徴収するなど有償で実施する事業での利用

イ　非営利法人と営利法人等の共同により参加者から月謝等を徴収するなど有償で実施する事業での利用

（３）営利を目的とする場合の確認方法

ア　確認方法

「営利を目的とする場合」の確認は、指定管理者が利用申込（申請期間前の受付も含む）時に行う。要件を示し、該当する場合は「申請書」を提出させた上で「営利を目的とする場合」の料金を適用する。

なお、提出がない場合であっても、実際の利用状況において「営利を目的とする場合」が疑われる場合には指定管理者が現場で確認を行う。

イ　施行日までの事前周知

葛飾区公共施設予約システム及び葛飾区公式ホームページ等において、改正内容及び具体例について周知する。あわせて施設窓口での利用手続の際にチラシ等を配付するなど、様々な手段で周知徹底する。

３　営利を目的とする場合に該当しない利用

（１）対象とならない使用者の例

実際に使用している団体のうち、対象とならない団体の例は以下のとおりである。

ア　かつしか地域スポーツクラブ育成支援指針に基づき区が設立・育成支援をしている団体

（ア）特定非営利活動法人こやのエンジョイくらぶ

（イ）一般社団法人オール水元スポーツクラブ

イ　区内41競技のスポーツ団体が加盟し、区におけるスポーツ及びレクリエーションの振興等を目的とした団体である一般社団法人葛飾区スポーツ協会及び加盟団体

ウ　葛飾区体育施設条例第17条第１項の規定により利用料金を減額又は免除される団体

（２）営利を目的とする場合に該当しない利用方法の例

ア　サークル活動や地域の交流活動等の無償又は必要経費（※）のみを会費等として徴収し、団体の活動に充てている団体の利用

※　この場合の必要経費とは会場使用料、必要な用具及び外部講師への謝礼等に関する費用とする。

イ　営利法人等が無償で実施する事業での利用